

令和2年度 事業報告について


I 令和2年度 事業報告

令和2年度は全国的な新型コロナウイルス感染症の流行により、須磨区社会福祉協議会が推進する地域福祉活動や各種事業の実施に様々な影響が及びました。

これまで人との対面を主な方法として実施してきた地域福祉活動は、感染拡大を防ぐために人との接触機会の削減が求められる状況下においては、実施そのものが困難な状況となりました。また、これらの活動に支えられてきた方々は社会参加の機会を失い、閉じこもりがちな生活に陥ってしまうなどの課題が生じてきました。


こうした状況に対し、神戸市社会福祉協議会と各区社会福祉協議会が一体となり、「Re³（れれれ）大作戦」と銘打って、地域の様々な活動者や社会福祉施設、地元商店などとの間でこれまで築き上げてきた社協のネットワークを活かして、関係者との協力関係のもと「with コロナ」に対応するための事業の見直しや、新しい地域福祉活動のカタチとなる仕組みの開発などに取り組みました。また、当会事業実施にあたっては感染防止対策を徹底し、地域活動再開に際しての感染症予防対策の啓発、相談支援に努めました。


“こうべの社協”「Re³（れれれ）大作戦」

“こうべの社協”
Re³れれれ大作戦 

新型コロナウイルス感染症により縮小や中止を余儀なくされた地域福祉活動を、「with コロナ」に対応した“新しいカタチ”で再開（Restart）することで、途切れかけた地域住民のつながり（Relationships）を紡ぎなおす（Rebuilding）ための取組みです。

<以下、事業報告内表示について>

※  マーク：赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金配分金事業で実施

※ “こうべの社協”
Re³れれれ大作戦 ：「Re³（れれれ）大作戦」で実施

1 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会・監事監査等の開催

会 議	開 催 日 (決 議 日)	内 容
第1回 理事会	令和2年 5月11日(月) ※書面決議	第1号議案 評議員選任候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員 会の招集について 第2号議案 評議員会での決議の省略および提出議案について
第2回 理事会	令和2年 6月15日(月) ※書面決議	第1号議案 令和元年度事業報告(案)および会計決算(案)について 第2号議案 定時評議員会での決議等の省略および提出議案について
第3回 理事会	令和3年 3月22日(月)	第1号議案 令和2年度補正予算(案)について 第2号議案 令和3年度委託契約の締結について 第3号議案 令和3年度役員賠償責任保険契約の締結について 第4号議案 令和3年度事業計画(案)および会計予算(案)に ついて 第5号議案 評議員会の招集ならびに提出議案について

第1回 評議員会	令和2年 6月8日(月) ※書面決議	第1号議案 理事の選任について
第2回 評議員会	令和2年 6月29日(月) ※書面決議	第1号議案 令和元年度事業報告(案)および会計決算(案)に ついて
第3回 評議員会	令和3年 3月24日(水)	第1号議案 令和2年度補正予算(案)について 第2号議案 令和3年度事業計画(案)および会計予算(案)に ついて

監事監査	令和2年 6月3日(水)	令和元年度業務執行状況及び財産の状況に関する監査
------	-----------------	--------------------------

善意銀行 運営委員会	令和3年 3月22日(月)	第1号議案 令和3年度善意銀行事業計画(案)について 第2号議案 令和3年度善意銀行収支予算(案)について
---------------	------------------	--

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

会 議	開 催 日	内 容
第1回 評議員選任・解任委員会 ※書面決議	令和2年 5月22日(金)	評議員の選任について

※ 書面決議による会議の開催日は、構成員の皆さまからの同意が得られた日を記載。

(3) 理事長感謝状の贈呈

各部門	個人	団体・グループ
善意銀行の部	2	5
ボランティア活動の部	12	4

※ 例年は6月開催の理事会に併せ贈呈式を開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事務局より受賞者へ個別に贈呈。

2 地域福祉・地域共生の推進

(1) 地域福祉ネットワーク事業

既にある制度や福祉サービスでは、解決が困難な悩みや困りごとなどの福祉的な課題に、地域の方々や専門機関と共に取り組み、制度の狭間や複合化した福祉課題の解決に向けたネットワークづくりを推進した。また、Eメールを活用した相談にも応じた。

ア 相談支援実績

- ・ニーズの掘り起こし(新たな相談件数) 135件
- ・地域福祉ネットワークカーによる継続支援 375世帯(延べ世帯数)
- ・区生活支援課くらし支援窓口との連携事例 204件

イ ひきこもり支援意見交換会

民生委員・児童委員、主任児童委員活動で関わる「8050問題」や「不登校」から見えてくる「ひきこもり」の課題を中心に、ひきこもり支援の現状や施策を知ることにより、今後の民生委員・児童委員、主任児童委員活動に活かし、生活困窮やひきこもりの早期発見や関係機関につなぐことを目的として開催した。

- ・開催日 毎月1回定例開催(全8回)
- ・場所 須磨区役所 多目的会議室他
- ・内容 「ひきこもりの当事者と家族の支援について」
藤本 圭光氏(特定非営利活動法人 神戸オレンジの会)
「社会的孤立と精神障害者の現状」
鏡味 秀彦氏(特定非営利活動法人 すまみらい) 他
- ・参加者 延べ214名

ウ 「民生委員・児童委員、主任児童委員活動アンケート」の実施


新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出による民生委員活動の自粛要請をうけ、地域での諸活動や高齢者見守り活動の現状や工夫、課題を把握するためアンケートを実施した。

- ・活動アンケート回答者数 229名/23地区 250名(回答率91%)

エ 一筆箋プロジェクト 「こうべの社協」 **Re³ 「れわれ」 大作戦**

「民生委員・児童委員、主任児童委員活動アンケート」結果をもとに、手紙等を活用した非対面での高齢者等の見守り方法検討のためのプロジェクトチームを立上げた。本プロジェクトの一環として、新たに見守り活動用一筆箋「結箋」(ゆいせん)を作成し、活動に活用いただいた。

- ・開催日 令和2年9月～令和3年1月(4回開催)
- ・場所 区社会福祉協議会相談室
- ・参加者 民生委員・児童委員、NPO法人すまみらい職員 延べ28人

オ 「地域福祉の担い手支援」を目指した活動の展開  **Re³れわれ大作戦**
自分のキャリアやスキルを活かし、コミュニティビジネスの手法を活用して、地域の課題解決に取り組み、活動者自身の生きがいの創出や新たな活動者の発掘育成を目的に「すまコミュニティビジネス大学」を開催した。


(ア) すまコミュニティビジネス大学

- ・開催日 令和2年9月23日(水)～令和3年3月10日(水) (全10回)
- ・場所 須磨区役所 403 会議室他/オンライン講座同時開催
- ・講師 畠 健太郎 氏 (プリズムデザインラボ代表)
- ・参加者 14名 (延べ96名)

(イ) 受講生によるビジネス企画発表会

- ・開催日 令和3年3月10日(水)
- ・場所 須磨区役所 多目的会議室/オンライン公開
- ・参加者 71名

(2) 地域福祉活動の支援のために

ア ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の支援 

ひとりぐらし高齢者等が、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、民生委員・児童委員と協力して、訪問等により安否確認を行っている友愛訪問グループに対して、活動の支援を行った。


- ・グループ数 131 グループ (ボランティア 677名)
- ・対象高齢者数 2,110名
- ・安否確認回数 延べ160,238回

イ ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動の支援 

ひとりぐらし高齢者等を対象に閉じこもり防止やコミュニティへの参加を目的に実施している区内のふれあい給食会の活動支援を行った。また、実施団体同士のつながりづくりや運営支援を目的とした研修・交流会を実施した。

(ア) 区内ふれあい給食会の活動状況

- ・グループ数 36 グループ (ボランティア 554名)
※うち、令和2年度活動中止 2グループ
- ・対象高齢者数 1,467名
- ・開催回数 96回

(イ) 衛生管理研修および情報交換会 

- ・開催日 令和2年10月30日(金)、11月2日(月)
- ・場所 須磨区役所 2階 健康教育室
- ・協力 須磨区保健センター保健師、西部衛生監視事務所
- ・内容 「配食活動における食中毒対策やコロナウイルス対策について」
「コロナ禍での今後の地域活動について」
- ・参加者 50名

ウ つどいの場支援事業【新規】

生活支援コーディネーターを中心に、あんしんすこやかセンター等と連携し、高齢者の介護予防や地域での支え合い体制づくりを目的とする「つどいの場」活動に係る、新規立ち上げの準備から補助金申請、活動の定着に向けての支援を行った。

- ・申請団体 14団体 (10団体：運営補助、4団体：立ち上げ応援補助)

エ コミュニティサポートグループ育成支援事業 ※令和2年度末で事業終了

住民相互で見守り、支え合える地域づくりを推進することを目的として、あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員・見守り推進員と連携して、地域住民が主体となり地域貢献やコミュニティづくり、介護予防に関する活動を行うグループの結成・育成支援を行った。

・支援グループ数 5グループ

(3) 地域子育て推進事業の実施

地域における子どもの見守りとともに児童健全育成を目的とした行事や、親子のコミュニケーション促進と子育て力の向上を目的とした行事等を実施した。また、児童館職員や子育てコーディネーターを地域の関係機関・団体に派遣し、子育てのコミュニティづくりを推進した。

ア 子育てコミュニティ育成事業

地域における子育てコミュニティづくりを目的に実施した。

児童館名	回数	主 な 内 容
板 宿	0	※感染対策のため実施見合わせ
妙 法 寺	4	親子でランタンづくり、お茶会、お正月リースづくり、年末お楽しみ会
高 倉 台	4	ハロウィンパーティー、クリスマス会、節分のつどい、ひなまつりイベント
落 合	8	第1～6回推進委員会、夏祭り、花谷地域防災訓練
横 尾	0	※感染対策のため実施見合わせ
東 須 磨	4	ラジオ体操、交通安全教室、映画会、マラソン大会、親子バレーボール大会
若 草	1	もうすぐ1年生
合 計	21	(参加者 延べ1,416名)

イ 須磨区子育て支援ネットワーク会議、地域連絡会への参加

・参加回数 8回(8地域) ※感染対策で中止地域あり

ウ 須磨区出前親子館の実施

近隣に児童館のない地域で児童館職員等が講師となり親子ふれあいあそびを実施した。

- ・開催日 令和2年10月～12月(合計3回)
- ・場 所 南落合地域福祉センター、清水台アルテピアⅢ番街自治会館、やすらぎ公園(西須磨)
- ・参加者 乳幼児18名、大人18名、ボランティアスタッフ22名

エ 親子向け防災プログラムの実施

区内親子サークルや児童館を利用する親子に対し、日ごろからの備蓄や地域とのつながりについて学ぶ機会として、備蓄用食品の試食や防災プログラムなどを実施した。

- ・開催日 令和3年1月～2月(合計3回)
- ・場 所 北須磨地域福祉センター、松風児童館、北須磨児童館
- ・参加者 幼児37名、大人28名、スタッフ9名

オ 児童館リサイクルの支援

保護者から子ども用品のリサイクルの希望のを受け、児童館にて交換会を実施した。物品を提供する側とされる側の保護者が子ども用品を通して交流が深まり、つながるきっかけとなった。

- ・開催日 令和2年9月～11月（合計7回）
- ・場所 白川台児童館、板宿児童館、若草児童館、高倉台児童館、たかとり児童館
- ・参加者 幼児87名、小学生2名、大人112名、スタッフ他24名

カ 子どもヘルパー活動の実施

子どもたちが地域活動のお手伝いやボランティア活動について、自ら企画や準備、実施し、地域の中で活躍する中で思いやりや奉仕の心を培うことを目的に実施した。（地域ふれあい交流、乳幼児とのふれあい、共同募金の街頭募金活動等）

- ・実施館 高倉台児童館、落合児童館、横尾児童館・横尾学童保育コーナー
- ・実施回数 合計20回
- ・場所 各児童館及び児童館周辺地域、施設等
- ・活動人数 延べ228名（登録人数54名）

キ インファントマッサージ教室の開催

日本インファントマッサージ協会公認インストラクターによる親子向けの教室を開催した。

- ・実施日 令和2年9月～令和3年2月（合計24回）
- ・参加者 乳児と保護者 45組（合計90名）

ク 子どもの居場所づくりの支援 てうべの社協 **Re³ れれれ 大作戦**

コロナ禍での実施状況の確認、現地確認や情報提供、相談を受ける等支援を行った。また、民間企業等と連携し、子どもの居場所や児童館を利用する子どもたちへ寄贈物品やお菓子の配布を行った。

- ・支援回数 165回

(4) 福祉・人権 啓発事業の実施

ア 夏休み親子手話教室の開催

須磨区内の小学生と保護者を対象に、あいさつや自己紹介等の簡単な手話の習得と聴覚障がい者への理解を深めることを目的に、夏休み親子手話教室を開催した。

- ・開催日 令和2年8月8日(土)
- ・場所 北須磨文化センター3階 大会議室
- ・協力 須磨区聴力言語障害者福祉協会、手話サークル ころろ
- ・参加者 小学生34名 保護者33名

(5) 認知症にやさしいまちづくりの推進

子どもたちが認知症への理解を深められるプログラムとして「認知症キッズサポーター養成講座」について、区内小中学校に対して広報およびアンケートを実施した。

(6) 公募助成事業「こすもスマイル助成」による居場所づくり支援

須磨区内の地域団体やボランティア等が取り組む「居場所づくり」事業等を支援するために、共同募金と善意銀行を財源として、外部委員の審査による公募助成事業を行った。

- ・申請団体 3団体
- ・助成決定 3団体（3事業） 合計 250,000円

《内訳》

備品費助成 2事業 100,000円／運営費助成 2事業 150,000円

3 高齢者福祉の推進

(1) 地域支え合い活動の推進

高齢者が住みなれた地域で、安心して生きがいのある生活ができるよう、関係団体と協働し、地域で互いに支え合える見守り体制の仕組みづくりを推進した。

ア 地域支え合い推進員との連携

区内8か所のあんしんすこやかセンターに配置された地域支え合い推進員と連携し、見守り希望者や地域の方からの相談・通報への対応や、見守りが手薄な地域への暫定的な訪問活動、高齢者生活情報等の提供、介護予防の推進やコミュニティづくり支援等の地域支え合い活動の支援を行った。

(ア) 地域見守り連絡会の開催（開催回数 134回）

民生委員児童委員協議会を単位に、見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、活動に関する情報交換を行う地域見守り連絡会を開催した。

(イ) 情報紙「赤灯台」の発行（発行回数 4回）

地域支え合い推進員・見守り推進員が主体となり、地域の高齢者の身近で役に立つ情報を発信する、情報紙「赤灯台」を発行した。

(ウ) 『すまっぷコスモス通信』を発行【新規】**Re³れわれ大作戦**

令和元年度に開催した地域支え合い推進員の合同事業「すまっぷコスモス」に参加した地域活動者・ボランティアを対象に、地域支え合い推進員によるインタビューを実施した。その結果をまとめた報告資料を作成し、コロナ禍での活動の状況を伝え、地域活動の継続・発展を支援した。

イ 見守り推進員（高齢世帯生活援助員）による活動 ※令和2年度末で事業終了

(ア) 高齢者自立支援拠点づくり事業および地域での交流拠点の運営支援

区内5か所のあんしんすこやかルームに配置された5名の見守り推進員（高齢世帯生活援助員）と連携し、災害復興公営住宅等に居住する高齢者等が、生きがいをもって安心して生活することができるよう、高齢者自立支援拠点づくり事業や地域での交流拠点の運営支援を行った。

対象住宅	開設場所	ルーム名
市営古川住宅 (たかとりあんしんすこやかセンター圏域)	同住宅住戸 (平成27年度より南須磨南地区集会所にて開設)	あんしんすこやかルーム 「コスモス」
市営若草住宅 (白川あんしんすこやかセンター圏域)	同住宅集会所	あんしんすこやかルーム 「若草」
市営横尾住宅 (妙法寺あんしんすこやかセンター圏域)	同住宅住戸	あんしんすこやかルーム 「おひさま」
市営竜が台住宅 (名谷南あんしんすこやかセンター圏域)	同住宅住戸	あんしんすこやかルーム 「ひだまり」
市営東落合住宅 (名谷あんしんすこやかセンター圏域)	同住宅住戸	あんしんすこやかルーム 「いろは」

(イ) あんしんすこやかルーム合同イベント ※緊急事態宣言の再発令に伴い中止

区内5か所のあんしんすこやかルームに配置された見守り推進員が、ルーム利用者をはじめとする区民向けにフレイル予防体操や、スマホ教室、小物作品の展示等、ルーム事業終了に伴う合同イベントを企画・準備した。

(ウ) あんしんすこやかルーム活動記録写真展と記録集の作成

あんしんすこやかルームの閉鎖にあたり、これまでの活動を振り返る写真展を開催した。また、『すまくのわ ～あんしんすこやかルーム 活動記録集～』を作成し、県内関係機関に約 300 部配布した。

- ・写真展 開催日 ①令和3年2月15日(月)～2月19日(金)
②令和3年2月22日(月)～2月28日(日)
- ・場所 ①須磨区役所1階 南側通路
②須磨パティオ1番館 1階 センターコート

(2) 見守りネットワーク会議の開催支援

地域見守り活動の一層の推進を目的とし、各あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員が中心となり、民生委員・児童委員、友愛訪問ボランティア、区社協等の地域活動者及び団体が参加する見守りネットワーク会議の開催を支援した。

- ・開催回数 42回

(3) 生活支援体制整備事業「実務者会（協議体機能を有する会議）」の開催

「新型コロナウイルス」をテーマに、グループワーク等を通じて実務者間で情報共有した。また、須磨保健センターや西部衛生監視事務所による衛生管理研修（P4掲載）も併せて開催した。

- ・開催日 令和2年10月30日(金)、11月2日(月)
- ・場所 須磨区役所 2階 健康教育室
- ・参加者 50名

(4) 生活支援・介護予防サポーターフォローアップ研修

神戸市主催による、生活支援・介護予防サポーター養成研修修了生の交流と活動のフォローアップを目的に衛生管理研修を実施した。（上記「実務者会（協議体機能を有する会議）」同日開催。）

- ・参加者 9名

※生活支援・介護予防サポーター養成研修および関連事業については、令和2年度末で事業終了。

(5) 高齢者見守り調査の実施

民生委員・児童委員の協力により、過去1年間に新たに「70歳以上の単身高齢者」または、「75歳以上の高齢者のみの世帯」、以前の調査において見守り不要と返信していた75歳以上の単身高齢者等の訪問調査を行い、日頃の見守りが必要な高齢者の状況を把握した。

(6) テレホンサポート事業

ボランティア（テレホンサポーター）が週2回、区内のひとりぐらし高齢者（希望者）宅に安否確認を兼ねて電話をかけ、話し相手や相談対応等を行った。

- ・実施日数 98日
- ・ボランティア数 10名
- ・利用者 30名
- ・通話回数 924回

※緊急事態宣言中によるボランティア活動中止に伴い、区社協職員より発信した件数を含む。

(7) 歩行杖の交付  ※令和2年8月31日事業終了

高齢者の社会参加の促進及び安全の確保を目的に、「赤い羽根共同募金」の配分金や「善意銀行」の預託金を活用し、区内在住の70歳以上の高齢者に歩行杖を交付した。

- ・交付実績 696本（本区232本・北須磨支所464本）

4 障がい者福祉の推進

(1) 須磨区自立支援協議会との連携

地域で生活する障がい者のくらしを支える取り組みとして、須磨区自立支援協議会が開催する各部会に参画し、連携、協力を行った。

ア すまいんど部会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種行事は縮小・中止となったが、障がい者就労支援のための販路拡大や広報活動についての取り組みを検討した。

イ 就労支援部会

就労支援に関する情報や支援方法等の共有を図るため、関係機関と連携し、オンラインで「事業所自慢」を実施し、当事者同士の交流の場を設けることができた。

ウ まなぼー!!部会

新型コロナウイルス感染症に関する各事業所での感染症対策の情報共有を行った。また、ZOOM 会議にて「障がいについての理解」を深める機会となるような啓発活動を実践する準備を進めた。

エ ともいき部会

「災害時要援護者支援」をテーマで進める予定であったが、コロナ禍の状況により部会開催や研修会の実施が困難となったため、ZOOM 会議等を通じて情報共有を行った。

オ 親子部会

発達の気になる子どもと保護者の支援と交流を目的に活動し、当事者とその家族のための情報冊子「すまっこナビ」をもとに、情報提供・啓発活動を行った。

(2) 手話入門講座の開催

須磨区聴力言語障害者福祉協会と連携し、挨拶や自己紹介等の簡単な日常会話ができる程度の手話技術を学ぶことで、区民が聴覚障がい者への理解を深め、将来的に手話ボランティアとして活動していくために必要な知識を得ることを目的に開催した。

- ・開催日 令和2年9月4日(金)～令和3年1月29日(金) (全20回)
- ・場所 大黒地域福祉センター
- ・参加者 11名(修了者数10名)

(3) 福祉施設等と連携した活動支援

区内施設と地域住民との交流活動を赤い羽根共同募金配分事業により支援した。また、コロナ禍で自主製品の売り上げが落ち込む障害福祉サービス事業所と連携し、共同募金運動のためのオリジナルグッズ製作することで販路を提供した。

5 児童福祉の推進

(1) 児童館の管理運営

ア 児童館7館、および3か所の学童保育コーナーの管理運営<市社協運営分>
 <<令和2年度 児童館利用状況>> (単位：人)

児童館名	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	放課後児童クラブ 在籍者数 (令和2年6月末)	放課後児童クラブ 在籍者数 (令和3年3月末)	運営委員会
板宿	15,442	53	72	63	書面決議により実施
妙法寺	9,473	32	59	48	
高倉台	12,198	42	58	45	
落合	17,401	59	54	46	
南落合学童保育コーナー	※10,681	※36	※88	※66	
東落合学童保育コーナー	※10,418	※36	※67	※53	
横尾	12,707	43	70	59	
横尾学童保育コーナー	※10,123	※35	※61	※52	
東須磨	15,402	53	75	63	
若草	13,152	45	71	59	
合計	95,775 ※31,222	平均47 ※平均36	459 ※216	383 ※171	

※学童保育コーナー人数 (外数)

イ 神戸市放課後子ども総合プラン事業「放課後こどもひろば」(横尾小学校 のびのびひろば)の運営
 ・年間利用者数 3,446名 (1日平均利用者数22名)

(2) 児童館の運営支援

ア 児童館巡回相談・支援 職員研修の実施

市社協運営児童館・学童保育コーナーに加え、社会福祉法人及びNPO法人等が運営する以下の7児童館及び4学童保育コーナー、1分館を対象として、巡回相談や職員研修を実施した。

- ・神の谷児童館 (運営：特定非営利活動法人 かみのたに)
- ・北須磨児童館 (運営：社会福祉法人 北須磨保育センター)
- ・松風児童館 (運営：社会福祉法人 豊友会)
- ・白川台児童館 (運営：社会福祉法人 泰福社会)
- ・菅の台児童館 (運営：特定非営利活動法人 すがのだい)
- ・たかとり児童館 (運営：社会福祉法人 神戸YMCA 福祉会)
- ・大黒児童館 (運営：株式会社 セリオ)
- ・西落合学童保育コーナー (運営：特定非営利活動法人 かみのたに)
- ・松尾学童保育コーナー (運営：社会福祉法人 泰福社会)
- ・竜が台学童保育コーナー (運営：特定非営利活動法人 すがのだい)
- ・だいち学童保育コーナー (運営：株式会社 セリオ)
- ・松風児童館分館 (運営：社会福祉法人 豊友会)

イ 拠点児童館事業の支援（落合児童館）

地域の子育て支援の拠点児童館として、以下の専門講座を実施した。実施にあたっては、神戸市総合児童センターの養成講座を受講した子育てシニアサポーター（ボランティア）との連携を行った。

(ア) 子育て専門講座

赤ちゃんとのふれあい講座（4回連続講座・年1回）

- ・参加者 親子7組

(イ) 区の特성에基づく事業

a. 高学年地域ボランティア（落合児童館子どもヘルパー）

こども会議を開催し、児童館行事や地域行事などに主体的に関わり役割分担など子ども自ら調整し実施した。

- ・参加者（実人数） 15名（延べ人数）189名
- ・対象者 小学校4～6年生（3校）

b. おちあいファミリーひろば

就労などで平日児童館に来られない保護者にも参加しやすい土曜に実施することで乳幼児と保護者のふれあいの場を提供した。また、子育て中の保護者同士の仲間づくりにつながるようなプログラムを実施した。

- ・実施回数 3回
- ・参加者 延べ154名

(ウ) Jidoukan-café（ジェイカフェ）

発達がゆっくりな乳幼児とその保護者が、気兼ねなく遊び、日頃の育児の不安や悩みを共有できる居場所を提供した。

- ・実施回数 33回
- ・参加者 親子28組（延べ513名）

(エ) 子どものおべんとうひろば

保護者が就労等により自宅不在で放課後児童クラブを利用していない小学生に対し、子育てシニアサポーターの協力のもと、居場所を提供した。

- ・実施回数 34回
- ・参加者 延べ119名
- ・子育てシニアサポーター 延べ31名

(オ) 子育てシニアサポーターの活動支援 登録者数28名

ウ 児童館事業への支援（子どもの遊びプログラム派遣事業）

コロナ禍で制約の多い中でも、乳幼児親子や小学生が楽しめる手遊び等のプログラムを提供をした。

- ・開催日 令和2年9月～令和3年2月
- ・回数 14回
- ・参加者 344名（全児童館）

(3) 児童館合同行事の開催

ア 高齢者との交流事業の実施

子どもたちが作成した手紙やプレゼントを、地域の高齢者に届けることで、地域での世代間交流をはかった。

- ・実施期間 令和2年8月～令和3年3月（合計44回）
- ・参加者 乳幼児30名、小学生523名、大人553名（うち高齢者513名）

イ 須磨区児童館パネル展示

児童館の紹介などのパネル展示を通して、区民へのPRを行った。

- ・開催日 令和2年11月27日(金)～12月11日(金)
- ・場所 須磨区役所1階ギャラリー

(4) 地域子育て推進事業の実施(再掲 資料P5参照)

6 ボランティアセンターの運営

「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを必要としている人」をつなぐ中間支援組織として、人と人が支え合う仕組みづくりを構築し、地域活動の推進を行った。

(1) 登録・紹介

- ・登録者数 個人220名 / 団体184団体(6,901名)
- ・依頼件数 38件(紹介数42件)
- ・その他相談、情報提供 1,166件

(2) 地域ボランティア活動助成事業および県民ボランティア活動助成の受付事務

ボランティア活動を推進するため、ひょうごボランティア基金の県民ボランティア活動助成と神戸市社会福祉協議会ボランティア活動費助成の申請支援および受付を行った。

- ・ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成申請受付 44件(エントリー数57件)
- ・神戸市社会福祉協議会ボランティア活動助成申請受付 7件【新規】

(3) 須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局運営

センター登録のボランティアグループ代表者の有志が集まり結成している須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局として、連絡会の開催や所属団体の活動支援を行った。

- ・開催回数 8回(第1水曜日開催・地域活動支援コーナー他)
- ・参加団体 15団体

(4) ボランティア保険の受付・請求

- ・受付件数 463件
- ・請求件数 9件

(5) ボランティア講座等の実施

ア ちょこっとボランティア講座【新規】

ボランティアを身近に感じられるよう、体験を交えた講座を開催し、新たな活動者を育成した。また、障がい者福祉施設と連携することで障害についての理解促進も行った。

- ・開催日 令和2年8月24日(月)、8月26日(水)～9月1日(火)、9月4日(金)
- ・協力 須磨区障害者支援センター、じゅうしん須磨寺、須磨区役所
- ・参加者 4名(延べ11名)

イ 輝け☆須磨オヤジ塾

「輝け☆須磨オヤジ塾」を須磨区役所まちづくり課と共催により実施。定年前後の男性がボランティア活動について学び、新たな活動につなげることを目的に開催した。

- ・開催日 令和3年4月12日(月)
※当初開催予定日の令和3年1月7日(木)が気象警報で中止となり振替開催
- ・場 所 須磨区役所 4階多目的会議室
- ・参加者 11名

ウ 区内高等学校と連携した防災講座【新規】^{“こうべの社協”} Re³れれれ大作戦

兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校と連携し、写真洗浄のボランティア活動と防災について学ぶための講座を開催した。

- ・開催日 令和2年11月27日(金)
- ・場 所 須磨区役所2階201会議室
- ・参加者 兵庫大学附属 須磨ノ浦高等学校 2年生 17名
- ・講師 被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」

エ 「KOBE シニア元気ポイント」制度運営協力【新規】

高齢者の外出の機会の増加や社会参加の促進を図ることを目的として神戸市が実施する「KOBE シニア元気ポイント」制度の説明会にて、ボランティア活動についての説明や相談受付を行った。

- ・開催期間 令和2年9月～令和3年3月(計8回)
- ・場 所 北須磨文化センター、白川台会館
- ・参加者 延べ36名

オ ボランティア入門カフェ講座

ボランティアに興味のある方へのボランティア活動に対する関心・理解・参加を促すため、受講者が参加しやすいカフェ形式での入門講座を定期開催した。

- ・開催日 毎月第2木曜日(※予約制)
- ・場 所 須磨区社会福祉協議会 相談室2
- ・内 容 ボランティア基礎・ボランティアセンターの機能と役割
- ・受講者 2名

(6) ボランティア活動への支援

コロナ禍において活動自粛を余儀なくされているボランティアに対して、当事者同士が安心できる活動となるよう、チラシ等による感染防止対策の啓発や相談支援を行った。

ア 活動の工夫・いい話募集【新規】^{“こうべの社協”} Re³れれれ大作戦

コロナ禍の中、新しい活動方法を模索していくため、ボランティアセンターの登録ボランティアから、活動の工夫・いい話を募集し、ボランティアセンターだよりやホームページ、SNSを通じて共有を図った。

- ・募集開始 5月末
- ・集まった記事 12話
「北須磨高等学校“元気の種”たねだんご配布活動」「学生と障がい児とのオンライン交流活動」「高齢者見守り活動の工夫」等

イ 「須磨区ボランティアセンターだより」の発行

須磨区ボランティアセンター登録ボランティアの活動がより充実することを目的に、活動報告や講座などの情報発信を行った。

- ・発行回数 年2回(7月・1月)
- ・部 数 各500部

ウ スクールボランティア活動支援冊子「YELL」の発行【新規】^{“こころへの社協”} Re³れれれ大作戦🍷
特別支援学級での活動の工夫や、学校でのボランティアに役立つ情報をまとめた情報冊子を発行した。

- ・協力 区内小学校、神戸市教育委員会 教育人材センター

エ 出演ボランティアまつり ～ YouTube バージョン～ 【新規】^{“こころへの社協”} Re³れれれ大作戦🍷
出演ボランティアのPRおよび交流の場である出演ボランティアまつりを、動画共有サイトYouTubeで公開し、活動先やボランティア同士での共有を図った。また、ボランティアによる撮影、動画作成により新たな活動を開拓した。

- ・開催日 (撮影) 令和2年9月8日(火)、9月9日(水)
(公開) 令和2年10月1日(木)
- ・場所 (撮影) 須磨区文化センター 大ホール、Art Garage C-lump
(公開) YouTube
- ・参加者 10グループ53名

オ 地域とつながろう・おうちでボランティア【新規】^{“こころへの社協”} Re³れれれ大作戦🍷
感染症対策の為に外出の機会が減っている区民を対象に、自宅でできる折り紙の壁飾り作成のボランティア活動の機会を提供した。作品は、区内福祉施設等に送付し、利用者や職員に季節や地域からのエールを伝えることができた。

- ・開催回数 3回
- ・募集期間 ①令和2年5月19日(火)～6月12日(金)
②令和2年7月20日(月)～8月25日(火)
③令和2年11月2日(月)～11月24日(火)
- ・協力施設 ①須磨裕厚病院 介護医療院、②じゅうしん須磨寺、③神戸愛生園
- ・参加人数 合計176名 ①52名(246個)、②66名(681個)、③58名(256個)

カ 絵手紙ボランティア活動【拡充】^{“こころへの社協”} Re³れれれ大作戦🍷
絵手紙ボランティア入門講座修了生等が、ひとりぐらし高齢者等(登録者296名)へ定期的に絵手紙を送る活動を実施した。緊急事態宣言中も在宅での活動を継続した他、区役所1階通路での展示を行い、来庁される区民にも紹介した。

- ・活動人数 51名

キ 軽作業ボランティア「コスモスのたね」
だれもが生きがいややりがいを感じ、社会性自立のきっかけとなる場所を目指し、定期的な軽作業等のボランティア活動を行う場を開設した。

- ・開催日 毎月2木曜日 ※自由参加
- ・場所 須磨区役所 3階地域活動支援コーナー
- ・内容 チラシ折などの軽作業

(7) 須磨区地域活動支援コーナーの利用調整

須磨区役所3階に設置されている「地域活動支援コーナー」について、須磨区から受託し、登録している地域団体やボランティアグループ等の利用調整を行った。

- ・開設日時 月～金 9時～17時(12時～13時は除く) ※区役所開庁日
※緊急事態宣言中は開設中止
- ・利用件数 174件

7 相談・援助活動

(1) 心配ごと相談所の運営

須磨区民生委員児童委員協議会の地区会長が相談員となり、地域住民の日常生活上のさまざまな相談に応じ、助言や各種制度や関係機関の紹介を行った。

- ・場 所 須磨区社会福祉協議会 相談室 2
- ・開設日時 毎月第1、3火曜日（13時～15時）
- ・開設回数 15回 ※緊急事態宣言中は閉所
- ・相談員 24名（各回2名）
- ・相談件数 14件

(2) 成年後見制度の利用手続き相談室の運営

市民後見人候補者による成年後見制度の概要及び利用手続き説明の窓口を開設した。なお、緊急事態宣言中は神戸市成年後見支援センターによる電話相談に切り替えた。

- ・場 所 須磨区社会福祉協議会 相談室 2
- ・開設日時 毎月第2火曜日（13時半～15時半）
- ・開設回数 5回※電話相談日を除く
- ・相談件数 3件

(3) 生活福祉資金貸付

低所得者や障がい者の経済的自立と、生活の安定を目的とした貸付を行った。貸付にあたっては、地域福祉ネットワークや神戸市「くらし支援窓口」との連携により、一体的な支援を行った。また、新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯に対し、令和2年3月25日より全国一斉に受付開始となった緊急小口資金及び総合支援資金の新型コロナウイルス特例貸付の受付を行った。

ア. 貸付総件数 64件 貸付総額 30,310,000円

※新型コロナウイルス特例貸付除く。

《内訳》

①教育支援資金

・貸付件数 48件 貸付金額 24,622,000円

②福祉資金

・貸付件数 8件 貸付金額 4,970,000円

③総合支援資金

・貸付件数 0件 貸付金額 0円

④緊急小口資金

・貸付件数 8件 貸付金額 718,000円

イ. 新型コロナウイルス特例貸付総件数 3,849件 貸付総額 1,764,320,000円

①緊急小口資金

・貸付件数 2,030件 貸付金額 351,800,000円

②総合支援資金教育支援資金

・貸付件数 1,819件 貸付金額 1,412,520,000円

(4) 車いすの貸出し

高齢や疾病などの理由により、一時的に車いすを必要とされる区民に対して車いすの貸出しを行った。

- ・延べ貸出し件数 208台（本区129台・北須磨支所79台）

8 福祉教育の推進

(1) 小中学校からの相談への情報提供、講師紹介等

小中学校からの福祉学習に関する相談に対して情報提供を行った。

(2) 福祉教育用機材の貸出し

学校や地域等で福祉学習に活用してもらえるよう福祉教育用機材の貸出しを行った。

・貸出し件数 24件

《備品数・貸出件数》

種 類	在庫	貸出	種 類	在庫	貸出
車いす	15 台	13 件	小型点字器	35 台	2 件
高齢者疑似体験セット (S/M/L サイズ)	S4 個	4 件	ゴーグル、プレート	10 個	0 件
	M3 個	0 件	かるたセット	2 個	0 件
	L2 個	0 件	もちつきセット	1 セット	0 件
イヤードیفENDER	10 個	0 件	コミュニケーション麻雀	6 個	0 件
白杖	4 本	1 件	コミュニケーション麻雀 (地域拠点貸し出し)	1 個	0 件
アイマスク	45 枚	4 件			

9 善意銀行の運営

広く区民から善意の預託を受けた金銭や物品などを管理し、必要に応じて地域福祉の推進のために払出しを行った。また、新型コロナウイルス感染症対策への取り組みとして、区役所内へのマスクポストの設置などを行い、希望する区内福祉施設等に配布した。

(1) 金銭

ア 預託 30件 1,117,939円
イ 払出 112件 1,854,406円

《払出内訳》

内 容	件数等	金 額
ひとりぐらし高齢者給食サービスグループ助成金	34件	680,000円
歩行杖交付事業	2件	224,350円
貸出車いす点検および修繕費	3件	41,800円
公募助成こすもスマイル助成事業	2件	13,186円
(真石氏指定預託) 寄贈図書購入 (662冊)	71件	895,070円
合 計	112件	1,854,406円

(2) 物品 “こすも”の社協 Re³ れわれ 大作戦

ア 預託 37件 (マスク、フェイスシールド、切手、衣類 等)
イ 払出 37件 (区内福祉施設、ボランティア団体 等)

10 共同募金運動の推進

(1) 赤い羽根共同募金

地域団体に協力いただき、共同募金の趣旨や役割について啓発強化を行いながら、募金運動に取り組んだ。また、1月から3月末まで期間拡大募金に取り組み、「募金百貨店プロジェクト」を通じて、企業・事業所と連携した募金運動を行った。

- ・募金運動期間 令和2年10月1日(木)～令和3年3月31日(水)


ア 募金実績額（一般、歳末、拡大期間1～3月） 5,941,090円

《募金種別内訳》

募金種別	実績額 (円)	概要
戸別募金	3,292,445	各地域団体等の協力による戸別募金
街頭募金	329,761	10月～12月の街頭募金（実施回数9件）
法人募金	870,577	企業、事業所、医院、歯科医院、薬局など募金百貨店（期間拡大）
職域募金	358,911	バッジ・クリアファイル、クオカードなど資材募金
学校募金	507,066	区内幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校
その他募金	582,330	個人、ボランティアグループ、イベント、利息等
合計	5,941,090	

イ 拡大期間募金（実施期間：令和3年1月～3月） 合計2,686円

- ・募金百貨店プロジェクト 1件 2,679円
協力：障害福祉サービス事業所ころわ
- ・その他 7円（預金利息）

ウ 地域配分額 2,333,966円（前年度募金実績額に応じた須磨区への配分）
共同募金を財源として、福祉啓発活動や須磨区内の各福祉関係団体等の活動に対して助成を行った。

《内訳》

高齢者福祉活動事業	529,570円（老人クラブ助成、歩行杖等）
障がい者（児）福祉活動事業	312,420円（障がい者団体への助成等）
児童・青少年福祉活動事業	655,641円（保護司会助成、子ども会助成等）
母子・父子福祉活動事業	150,990円（母子福祉施設等）
福祉育成・援助活動事業	333,035円（施設の地域交流事業等）
公募助成事業	352,310円（こすもスマイル助成）

(2) 歳末たすけあい募金

歳末の地域福祉施設や地域活動支援のため、共同募金とあわせて募金活動を実施し、助成を行った。

- ・配分金額 1,146,510円

《内訳》

ひとりぐらし高齢者等給食サービスグループ（23グループ）	737,620円
ひとりぐらし高齢者等友愛訪問グループ（116グループ）	357,680円
障がい者事業所（5か所）	51,210円

(3) 福祉学習

参加と協働を通じた共同募金における「新たな助けあいの創造」を目指し、次代を担う児童・青少年に対し、募金運動を通じた福祉学習や街頭募金活動支援を行った。

- ・実施回数 2回（神戸星城高等学校、落合児童館）

1 1 広報、啓発事業

(1) 区社協だより「こすもす」の発行

区社協の活動紹介や協力団体の活動状況の発信等、写真やイラスト等を活用し、広く区民に親しみのもてる紙面づくりに努め広報、啓発を行った。

- ・発行回数 1回（令和2年10月1日）
- ・部 数 新聞折り込みにより区内全域及び関係団体に配布
45,050部

(2) 区社協ホームページの運営

ホームページの更新を通じて、災害支援募金や各種講座の案内、共同募金の活動報告等、適時更新し迅速な情報発信を行った。また、「Facebook」「ご近所SNS マチマチ」にも区社協ページを開設し、タイムリーに広報活動を行った。

- ・内 容 区社協の概要、区社協だより、募集、お知らせ等
- ・更新回数 143回
- ・アドレス <http://www.suma-shakyo.or.jp/>

(3) 地域団体広報活動支援

地域活動やボランティア活動に取り組む団体を対象に印刷機（リソグラフ）を貸出した。

- ・貸出件数 116件

(4) マスコットキャラクターの活用

須磨区社協マスコットキャラクター「こすもちゃん」を広報時にイラストとして積極的に活用した。



▲ 区社協ホームページ
(<http://www.suma-shakyo.or.jp/>)



▲ 区社協 Facebook ページ



須磨区社協マスコットキャラクター
「こすもちゃん」

1 2 地域における公益的な取組

(1) 「神戸市須磨区社会福祉法人連絡協議会」への支援

須磨区の高齢・障がい・児童・保育等の社会福祉事業を運営する社会福祉法人が連携して地域福祉課題にアプローチし、地域社会への貢献をめざす、須磨区社会福祉法人連絡協議会（愛称：ほっとかへんネット須磨）の運営を支援した。

- ア 役員会 4回
- イ コア実務者会 2回
- ウ 実務者会 3回（分野別で開催）
- エ 全体会 2回（書面決議）
- オ 研修 1回

「令和2年度 災害時支援研修」（ほっとかへんネット兵庫主催／オンライン講座）

- ・開催日 令和3年2月18日（木）
- ・内 容 「新型コロナと保健衛生」「新型コロナと人権」
- ・講 師 豊留 則子氏（兵庫保健センター長）
津久井 進氏（弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所）
- ・参加者 延べ74法人 78名（うち須磨区内法人参加 8法人8名）

(2) 実習生の受入

福祉人材の育成への取り組みとして、社会福祉士相談援助実習の実習生を受け入れた。

- ・受入人数 1名